



安光ラヴェル 香保子 先生
高知大学医学部特任助教
女の子・男の子2人の母

論文が"世に出るまで"に、半年~1年以上かかるのをご存じですか？

みなさまにご提供いただいている質問票、生体試料、検査の結果などは、全て国立環境研究所(コアセンター)に大切に保管され、多くのプロセスを経て、少しずつその成果発表ができるようになってきました。現在、エコチル調査に携わる研究者は全国で約800名、そして約500編の論文が学術雑誌を通じて世界に発信されています。論文や学会発表を通じて世界中の科学者たちがコミュニケーションを重ね、少しずつ科学が進歩していく中に、エコチル調査の貴重な研究結果も貢献しています。科学的な研究結果が国の政策に影響を与えることもあり、私たち研究者は、参加者おひとりおひとりからいただくデータの大切さを日々実感しながら調査に携わっています。

全国のみなさんから頂いたデータ

■ 質問票

■ 検査記録

身体測定、
パソコンを使った検査
など

■ 血液などの資料の
分析データ

母乳、乳歯、髪の毛、
尿、血液、臍帯血(母)

コアセンターに集められ、生体試料は化学物質などの解析を行います。測定値や質問票等のデータに誤りがないかチェックしてまとめます。

調査時期ごとにまとめられたデータセットは、エコチル調査の研究者へ配布されます。研究者は論文テーマを決め、データを分析し英語で論文を書きます。

論文は、投稿前にエコチル調査の専門委員会で審査されます。必要に応じ、さらに分析をしたり論文を修正したりします。

審査を通過
論文を国際的な学術雑誌に投稿します。

質問・修正依頼
質問へ回答したり、指摘された箇所を修正し、チェックを受けます。

不採用
さらに修正し、別の学術誌へ掲載されるまで投稿します。

受理
論文が学術雑誌に掲載されます。

学会やセミナーなどで発表します。

数ヶ月~数年かかります

